
STARDRIVER 孤高の皇帝

ルナテック

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

STAR DRIVER 孤高の皇帝

【Nコード】

N2983BA

【作者名】

ルナテック

【あらすじ】

バトルスピリッツ 白銀神龍の界放の月森空也がスタドラの世界へ原作ブレイク、原作キャラ崩壊？、空也がサイバディアルファールで暴れまくりです。

プロローグ

始まりの銀河

今、サイバディと言うロボット同士が戦っている。

白いサイバディタワーと緑色のサイバディアレフィストである。

??? 【あーあ、レイジングブルボコボコにやられてるね。】

頭取とつとり（あなたがいるとはねーアルファ。）

アルファ【アハハーまあ、偶然だよ。】 『超棒読み。』

イヴローニユ（わざとかどうか、わからないわね。）

アルファ【あ、レイジングブル負けたみたいだね。】

頭取とつとり（これは、問題ね。）

アルファ【何が???】

イヴローニユ（勝手に皆水の巫女みなみのみこの封印を解こうとした事と。）

頭取とつとり（サイバディを破壊された事だよ。）

イヴローニユ（私が言おうと思ったのに）

アルファ【ま、どうでもいいやフィラメントなんてさ。】

アルファ【それより、第3フェーズのサイバディで「シルシ」もち

かー、面白くなってきたねー】

頭取とつとりイヴローニユ（面白くて）

アルファという仮面を付けた少年はニヤと、笑っていた。

プロローグ（後書き）

空也【おい！！作者】

ルナテック（はいはい）

空也【なんだこれは。】

ルナテック（スタドラの小説？）

空也【なんで！？書いた】

ルナテック（好きだから）

空也【そうじゃない！？、バトスピも書いてるのにかけるのかよ。】

ルナテック（大丈夫誰もみてないから。）

空也【駄目じゃん。】

アリス（出てない）

空也【・・・あ・・・】

ルナテック（バイバイ・・・誰か見てるのか??）

綺羅星十字団の挑戦

俺の名前は月森空也、バトスピの世界に行くはずが、何故か??? ス
タドラの世界へ来てしまった。

まあそれは、いいとして「スタドラ好きだし」

この世界の両親は俺が4歳の誕生日に事故で死んでしまった。

俺は両親の知り合いであった、カタシロ・リヨウスケに引き取られ
リヨウスケさんが父親になってくれた、そしてミヤビ・レイジ（ツ
ナシ・トキオ）とも知り合いになり綺羅星に入った。「5歳の時」
隊は勿論第2隊 バニシングエージである他の幹部も俺が12歳の
タクミ・タケオ、
ボウ・ツキヒコ、リヨウ・ギンタ、ケイ・マドカ、アタリ・コウ、
ダイ・タカシに勧誘し仲間にした。
マドカ、コウ、タカシは今は第4隊 おとな銀行に行かせている。
ただタカシがつまんないクンでも、ヘタレ、でもなくなっていた。
「ラスボス化？」

原作とは多少のズレがあるみたいだ。

シンドウ・スガタ、アゲマキ・ワコ、ニチ・ケイトとも幼馴染であ
る。

俺の持っている「シルシ」はフェニキア文字で無くギリシア文字の

「アルファと言うより。」

サイバディはデジモンのアルファモンがモデルてかそのままだった。

今空也は南十字学園の自分のクラスにいる。

空也【スガタ、おはよー】

スガタ（おはよう、空也、入学初日からサボっていたな）

空也【いやーそれがさー完全に忘れてたんだよ】「超棒読み」

スガタ（嘘だろそれ） スガタは空也にあきれたように言った

空也【ま、嘘なんだけどね】 空也は開き直った言い方で言った

スガタ（ハーー）

空也【スガタがため息ついたぞ、「アリス」】

アリス（ニャー）と空也のカバンから黒猫が顔を出した

スガタ（アリスつれて来たのか）

空也【おう、あそくだ俺の席どこだ？】

スガタ（あそこだよ。）とスガタは指押さす

空也【ケイトの隣りか、ん？なあ、あの赤髪の美少年誰だ？】

スガタ（ああ。彼はツナシ・タクトだよ、ほらこの島に泳いできた。

）
空也【ああ。アイツが、あいさつでもしておくか。】

スガタ（僕も行く）

席に座っているツナシ・タクトのもとへ行く

赤い髪の美少年と緑髪を長く伸ばした美少女、黒髪をポニーテールにした美少女が何か喋っていた

ケイト（良くない遊びだと思います。）

空也【何が良くないんだ？】

ケイト（空也、スガタ君、おはよう）

空也【おはよう】

スガタ（おはよう）

タクト（あ、スガタ、おはよう、彼も知り合いか？昨日はいなかったけど？）

スガタ（ああ、こいつは、）

カナコ【彼は月森空也くんよ。】

タクト（そうなんだ、僕はツナシ・タクトよろしく、けど昨日はいなかったけど？）

空也【いやー昨日は大変な事があったんだよ。】「超棒読み」

タクト（えええー！ そうなの！？）

空也【ク、クフフフウウ】 空也は笑いをこらえるので必死になっていた

タクト（え？） タクトがキョトンとしていた。

ケイト（うそようそ、どうせサボってたのよ） ケイトはあきれたように言った

カナコ（あーあー、簡単に騙されたわね。） カナコは笑っていた

タクト（え？ え？ そうなの）

スガタ（空也、いきなり騙す事無いだろ。）

空也【いやーごめんごめん、まさかこんなに簡単にいくとわ、おもは無くてさー】

タクト（月村君、酷いよ。）

空也【ごめんてば、それに俺の事は空也でいいよ。】

タクト（ああ、分かったよ空也）

スガタ（ああそうだ、タクト、放課後空いてるか。）

タクト（ああ）

スガタ（じゃあちよっと付き合え。

タクト（おう）

タクトが答えるとスガタは席へ戻った。

カナコ（ラブラブね。）

空也（ラブラブだね。）

タクト（はあ??） タクトは不思議そうにこつちを見る

カナコ（シンドウ・スガタ君、彼はガラス越しアリな人かな？）

綺羅星十字団アジト バニシングエージ幹部部屋

綺羅星十字団アジトのおくにある部屋に4人のバニシングエージ幹部がいた

アルファ【いやー面白くなってきたねー】

ステイツクスター（おい、面白がってないで説明しろよ。）

ソードスター（そうですね、聞きたいですねー。）

アルファ（????何を????）

キャメルスター（銀河美少年の事だ。）

アルファ【ああ、何の事について説明するんだ？】

キャメルスター（何でアイツのサイバディは第3フェーズなのかだ。）

アルファ（それは、タウの「シルシ」つまり「タウバーン」が人間専用だからだよ。」

ステイツク、ソード、キャメル、（（（人間専用!?!?!）））

三人はアルファの言葉に驚きを隠せない

アルファ【そう、人間専用のサイバディ、だから相性がいいから、第3フェーズ何だよ。】

スティックスター（人間専用でことは、俺たちのは違うのか？）

アルファ【さあ??分からないなー??】「超棒読み」

スティックスター（おい！）

ソードスター（怒っても無駄だと思いますよー、この言い方は絶対に言いませんから。）

キャメルスター（そうだけ、スティックスター、ソードスターの言うとうりだ、アルファがこの言い方の時は絶対に言わないよ。

スティックスター（クウ、そうだな。）

アルファ【あ、ゼロ時間が始まる。】

ゼロ時間

アルファ【こんどはスピードキッドのテトリオートかー】

イヴローニユ（・・・アルファ・・・）

頭取（アルファ）

アルファ【ハロー、】

スピードキッド（ハイ、ハイ、ハイ、早く乗りな、今夜の俺を待たせんな。）

頭取（唇使ったわね）

イヴローニユ（ガラス抜きで）

スピードキッド（それとも、先に皆水の巫女の封印を破るかー）

タクト（アプリボワゼ）

タクト「颯爽登場！ 銀河美少年、タウバーン！！」。

タクトがタウバーンにアプリボワゼし騎士の様な格好になり、前髪の色が金色になった

スピードキッド（はしゃぎすぎ過ぎだー出る杭は打たれるてこと覚えとけー。）とハイテンションで言う

テトリオートは緑色の光る円状なものを投げた。
だがタウバーンはそれを、軽く交わす

頭取（いい動きね第3フェーズだから？ 壊すのが惜しくなる）
アルファ（簡単に壊せばいいんだけど。）

テトリオートはタウバーンに猛スピードで。突っ込んでいく
それをタウバーンが交わしカウンターを仕掛けた。
テトリオートはカウンターをくらい倒れる。

スカーレットキス（チィ）

イヴローニユ（あの子、素人じゃないわね。）

タクト（もうお前たちの勝手は許さない、島の巫女にも手出しはさせない。）

ワコはタクトの言葉に驚いていた。

スピードキッド（威勢がいいな銀河美少年、今夜の俺は気合一億ボルトだー）と叫んだ

頭取（うぶな、男は嫌いじゃないけど。）

アルファ【やっぱり、恋の力は、すごいなー】

気合十分なスピードキッドを見たスカーレットキスは。

スカーレットキス（よし）

と嬉しそうに言った

イヴローニユ（嫌な女）

テトリオートは変形しバイクのような形になり、高速でタウバーンに突っ込んでいく。

タクト（そうゆうのアリ、イッア、ピーンチ。）

タクトは苦しい表情を、浮かべる

ワコは心配そうに見ていた

スカーレットキス（やっちゃえ、テツヤ）

スピードキッド（クハハハ、俺たちフィラメントにこそ綺羅星は、輝いている）

タウバーンは攻撃をくらいはじめた

ワコ（逃げてタクト君、もういい）

タクト（怖い時こそ、全力でぶつかれ、分かってるぜ、爺ちゃん。恐れずに、進めだろ、）

スピードキッド（これで、終わりだ）

テトリオートが高速で突っ込んでくる

アルファ【こんなんで、終わらないよねー】

タウバーンは胸の前に手を構えた

タクト（銀河を満たせタウの輝き、炸裂、タウ・銀河ビーム）

タウバーンの胸から青白いビームがでた。

アルファ【すげービーム出た!?!】

ビームがテトリオートにあたり爆発した

スカーレットキス（すご）

スカーレットキスは呆気にとられていた

タクト（本当に、出る杭は打たれてもなをでるのさ。）

アルファ【やっぱり、面白い、ククウウ】

アルファは必死に笑いをこらえていた

頭取じつとく（……………）

イヴローニユ（……………）

二人のも、アルファを見てなにを思ったかは本人しか知らない

綺羅星十字団の挑戦（後書き）

空也【こんな性格してんの俺】

ルナテック（一応、この世界に来た空也はこんな感じですよ）

空也【バトスピは、違うのか】

ルナテック（さあ？）

空也【おい！？】

ルナテック（お気に入りに入れてくれた人、読んでくれた人、ありがとねー）

空也【読んでくれたいたんだ】

ルナテック（いたんだよこれが）

空也【駄目な小説ですが】

2人【よろしくねー】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2983ba/>

STAR DRIVER 孤高の皇帝

2012年1月9日01時46分発行